



このまち **思い** エネルギー。

# 広島ガス

2017年5月17日

# 新企業スローガン

このまち思いエネルギー。  
広島ガス



1. 2016年度決算実績
2. 経営ビジョンと中期経営計画
3. 2017年度業績見通し
4. 株主還元方針
5. 成長戦略

# 1. 2016年度 決算実績

---

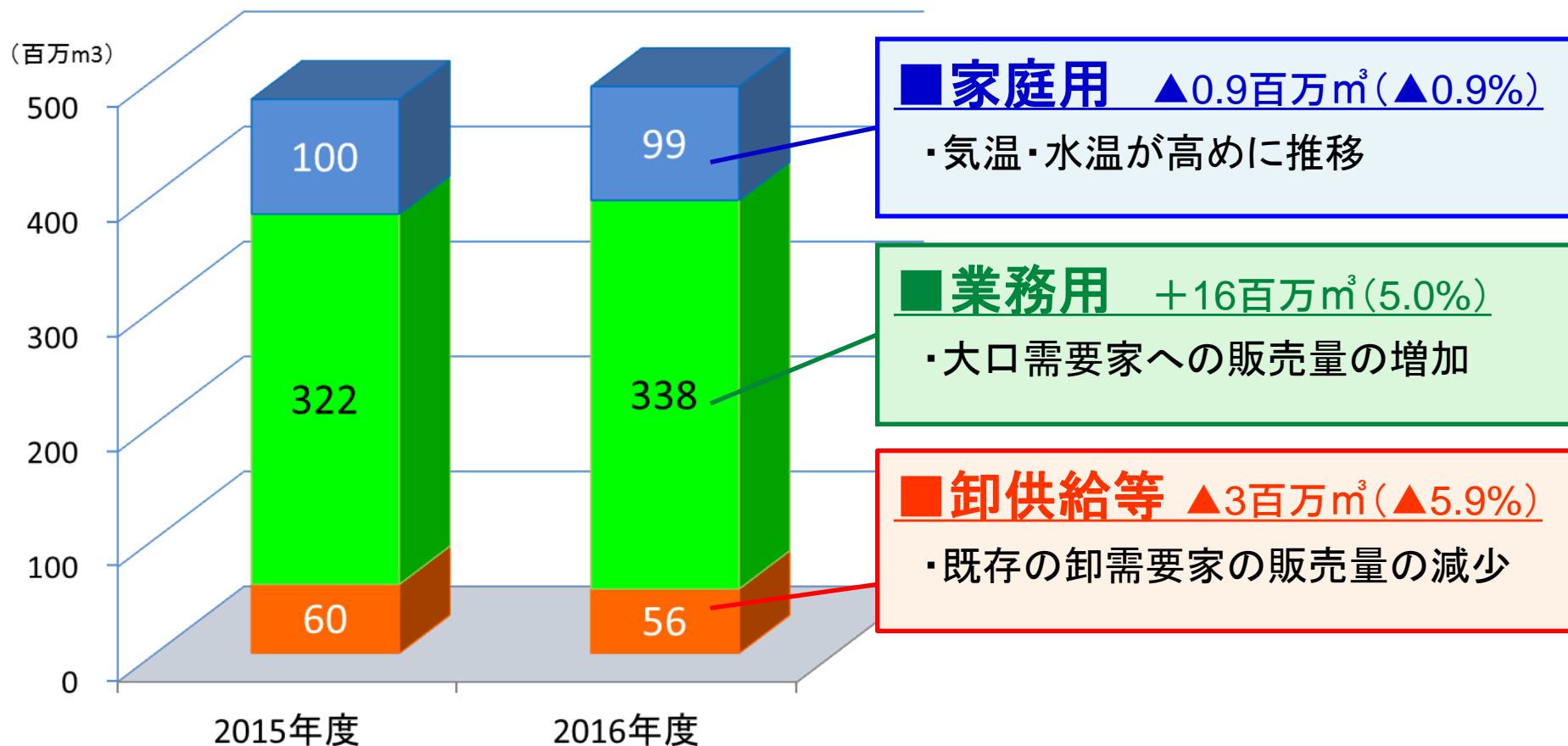


- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 2016年度 決算実績
- (3) セグメント別 決算実績
- (4) 財政状況

# (1) 都市ガス販売量実績



2016年度 ガス販売量 **494百万m<sup>3</sup>**  
(+11百万m<sup>3</sup>、+2.4%)

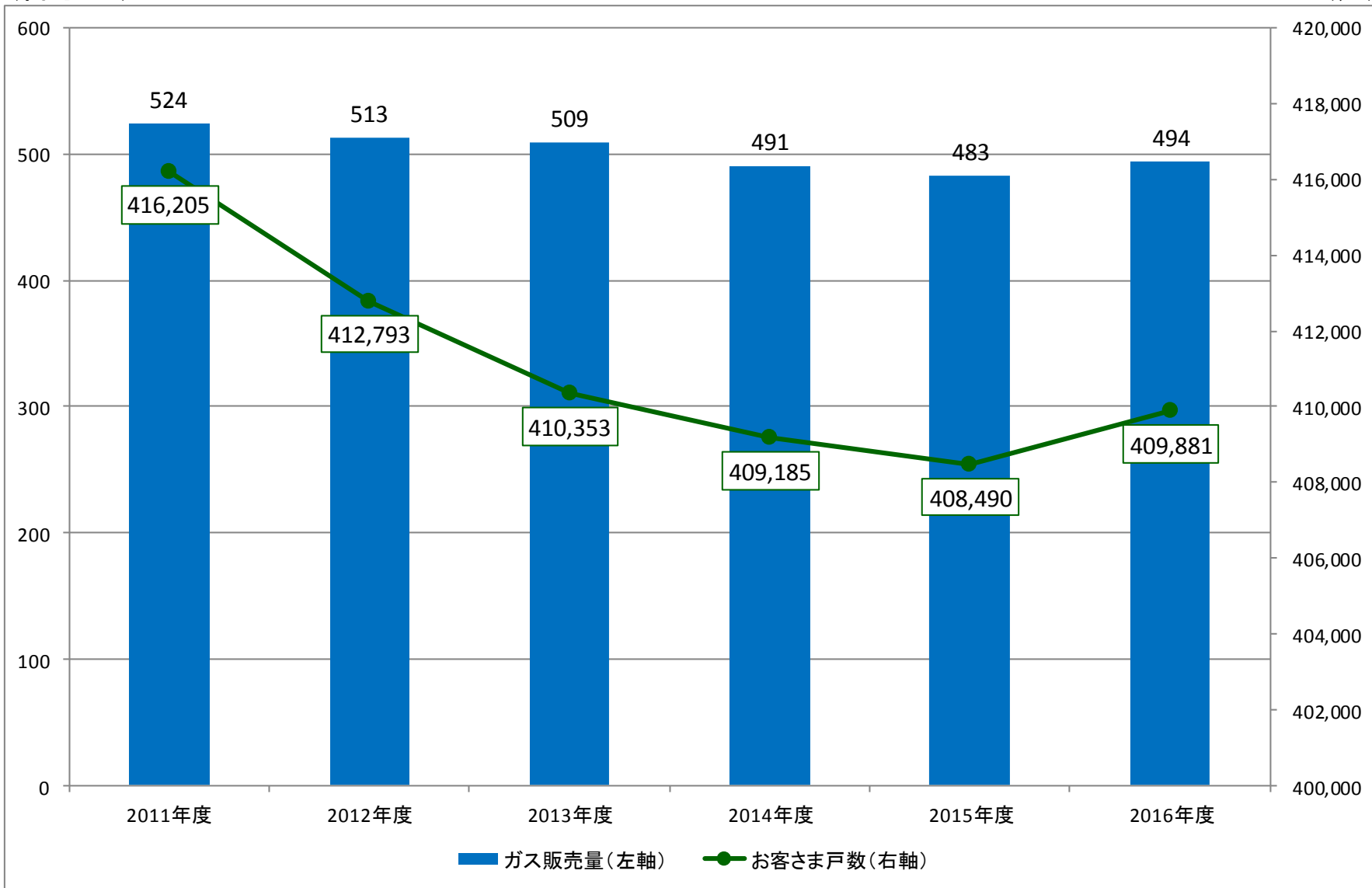


# (参考) ガス販売量とお客さま戸数の推移



(百万m<sup>3</sup>)

(戸)



## (2) 2016年度決算実績



(単位:百万円)

	2015年度	2016年度	増減	率(%)
売上高	76,303	70,002	▲6,300	▲8.3
売上総利益	30,107	28,819	▲1,287	▲4.3
営業利益	5,475	3,812	▲1,663	▲30.4
経常利益	5,775	4,310	▲1,465	▲25.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,647	5,560	1,912	52.4
ROE(%)	9.4	13.0	3.6	-
原油価格 JCC (\$/bbl)	49	48	▲1	-
為替レート(円/\$)	120	108	▲12	-

(注1) JCC: (=Japan Crude Cocktail、全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格)



# (参考) 経常利益分析

## 経常利益 ▲1,465百万円 の減益

(5,775百万円 ⇒ 4,310百万円)

「+」「△」は利益に対する影響額を示す

1. ガス事業 数量差 +300百万円

2. スライド差 ▲1,900百万円

・ スライドタイムラグ (2015)2,600百万円 (2016)700百万円

3. その他 +135百万円

・ 減価償却の減少 +200百万円

〔

- ・ 既存設備等

+550百万円

- ・ 廿日市工場棧橋関連

〕

▲350百万円



# (3) セグメント別 決算実績



(単位:百万円)

		ガス事業	LPG事業	その他	調整額	連結
売上高	2016年度	54,396	13,433	6,400	▲4,227	70,002
	2015年度	61,802	13,810	3,721	▲3,031	76,303
	増減率	▲7,405 ▲12.0%	▲377 ▲2.7%	2,678 72.0%	▲1,196 —	▲6,300 ▲8.3%
セグメント利益	2016年度	2,984	592	173	60	3,812
	2015年度	4,341	609	▲72	597	5,475
	増減率	▲1,356 ▲31.3%	▲16 ▲2.7%	246 —	▲536 —	▲1,663 ▲30.4%
セグメント売上高利益率	2016年度	5.5%	4.4%	2.7%	—	5.4%
	2015年度	7.0%	4.4%	—	—	7.2%

# (4) ① 財政状況



(単位:百万円)

	2016年3月末	2017年3月末	増減
総資産	102,357	102,363	5
負債	60,366	54,017	▲6,348
純資産	41,991	48,345	6,353
自己資本比率(%)	39.0	44.8	5.8pt

## (4) ② 財政状況



(単位:百万円)

	2015年度	2016年度	増減
営業CF	13,950	7,263	▲6,686
投資CF	▲9,735	▲8,125	1,610
財務CF	▲1,788	▲1,668	120
設備投資額	9,851	8,267	▲1,584
減価償却費	7,091	6,858	▲233

## 2. 経営ビジョンと中期経営計画

# (1) ① 電力・ガスシステム改革



## 【都市ガス自由化の経緯】

	← 大規模	年間契約ガス使用量	小規模 →	販売量に占める自由化割合
	200万m <sup>3</sup>	100万m <sup>3</sup> 50万m <sup>3</sup>	10万m <sup>3</sup>	
1995年3月～	大規模工場など			44%
1999年11月～	大規模商業施設など			49%
2004年4月～	中規模、スーパー、ビル工場など			52%
2007年4月～	小規模工場、スーパー、ビルなど			62%
2017年4月～	家庭用も含め全面自由化			100%

## 【電力自由化の経緯】

	← 大規模	契約電力	小規模 →	販売量に占める自由化割合
	2,000kW	500kW    50kW		
2000年3月～	【特別高圧】大規模工場、デパートなど			26%
2004年4月～	【高圧B、高圧業務用】中規模工場、スーパーなど			40%
2005年4月～	【高圧A、中圧業務用】小規模工場、店舗など			63%
2016年4月～	【低圧、電灯】家庭用も含め全面自由化			100%

# (1) ② 中国地方のガス小売自由化の状況

- 広島県は瀬戸内海と中国山地に囲まれ、沿岸部の狭い平野部を中心に供給区域が点在
- 当社の供給区域に、他社LNG基地からの導管は接続されていない状況



# (1) ③ 中国地方のガス小売自由化の状況②



## 全国におけるガス小売事業者の登録状況（2017年4月20日時点）

- これまでに、45事業者が、ガス小売事業の登録を実施

## 中国地方におけるガス小売事業者の登録状況（2017年4月20日時点）

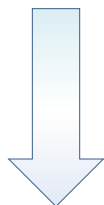
事業者	供給予定地域	一般家庭への販売予定
三愛石油	関東、近畿、 <b>中国</b> 、九州	<b>なし</b>
J Xエネルギー	北海道、東北、関東、 <b>中国</b>	<b>なし</b>
エネクスエルエヌジー販売	<b>中国</b>	<b>なし</b>

# (1) ④ 2020年ビジョン



## 【背景】

1998年策定      2010年ビジョン 「天然ガス転換事業完了後の経営多角化」



- ・LNG調達やガス販売に係る環境変化
- ・人口減等のお客さま環境の変化
- ・ガバナンス強化の必要性

2009年策定      2020年ビジョン 「**原点回帰**」

## 【方向性】

キーワード	方向性	具 体 的 内 容	
原点回帰	エネルギー供給事業への回帰	広く	◆ガス体エネルギーの普及拡大 ◆多様なエネルギーの提供 ◆低炭素社会への貢献
	お客さま視点でのサービスのあり方への回帰	深く	◆エネルギーの高度利用 ◆お客さまとの密なコミュニケーション ◆お客さまが望まれるサービスの提供
	公正かつ透明で風通しのよい組織への回帰	温かく	◆人材を育む      ◆環境を育む ◆お客さま・地域との関係を育む

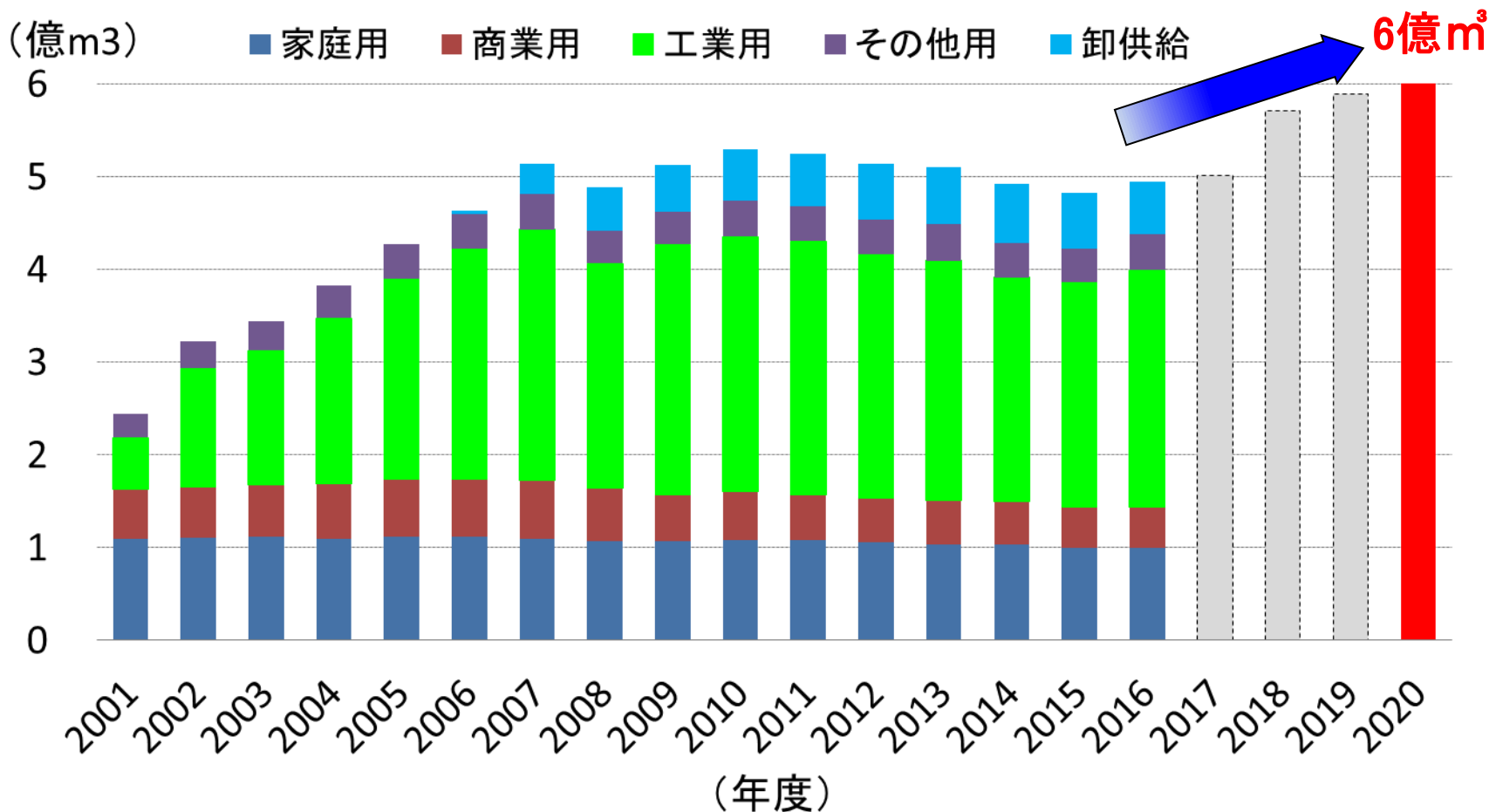
経営理念 : **地域社会から信頼される会社をめざす**



# (1) ⑤ ビジョンの目標



- ①更なる天然ガスの普及拡大を図り、販売量**6億m<sup>3</sup>**を目指す。
- ②更なる経営の効率化と収益力向上の推進。



## (2) ① 中期経営計画 基本方針

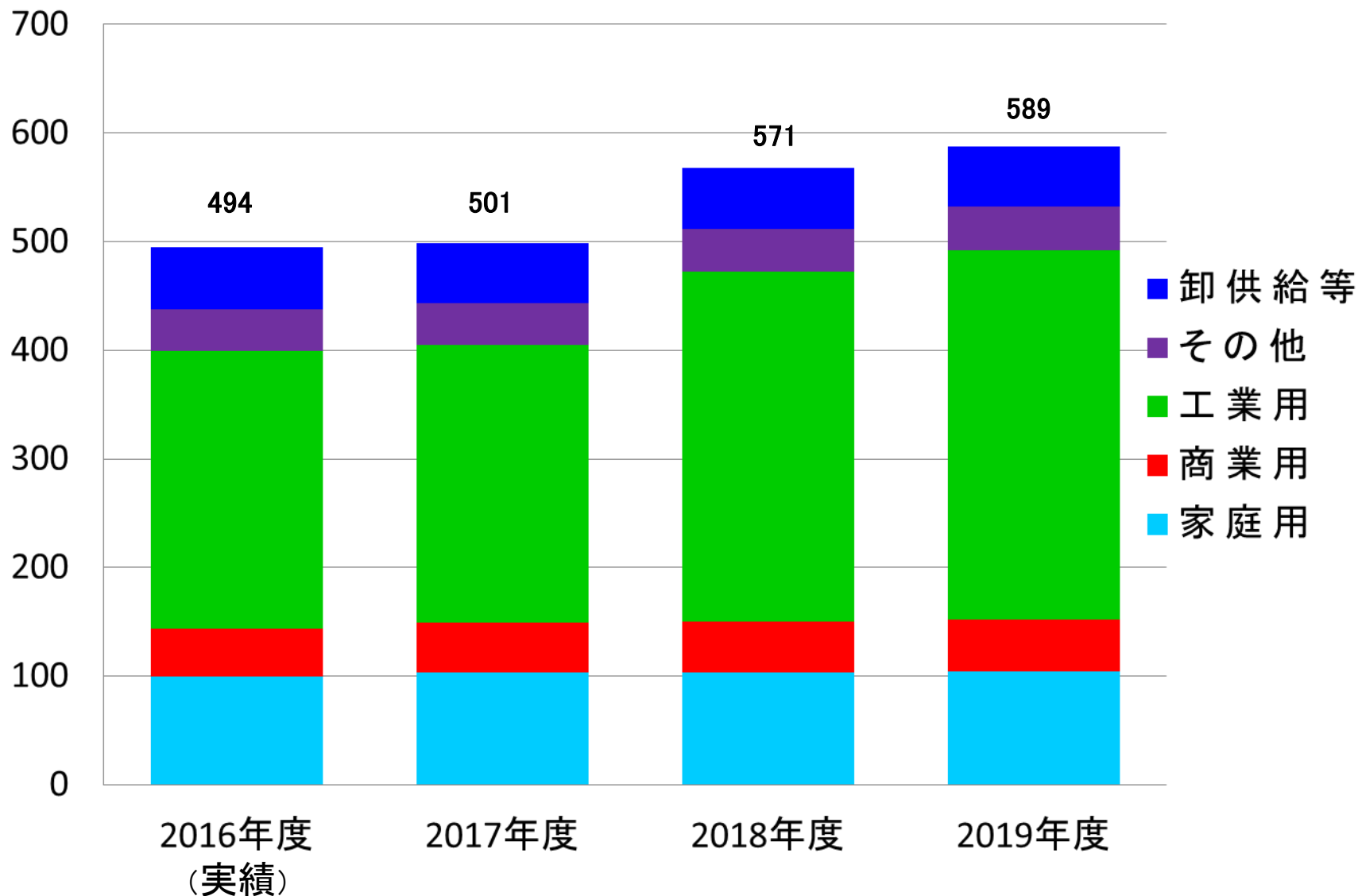


- (1) **ガス体エネルギー(天然ガス・LPガス)の普及拡大**、エネルギーの高度利用を通じ、省エネ・省CO<sub>2</sub>およびエネルギーセキュリティの向上に貢献する。
- (2) お客さま目線でのサービスのあり方を追求するとともに、環境にやさしく、安心・安全で快適な暮らしを創造し、**お客さま価値の向上**を図る。
- (3) **エネルギー市場自由化に向け適切な対応**を図り、新たな事業展開を検討・実施する。
- (4) **公正かつ透明で風通しの良い組織へ変革**し、地域の好感度No.1の企業グループとなる。
- (5) 従業員の能力・やりがいを高め、グループの**成長を担う人材の育成**を推進する。
- (6) グループ全体の収益性と健全性を高め、**強靱な企業グループを構築**するとともに、持続的な発展をめざす。

## (2) ② 中期経営計画 ガス需給計画



(百万m<sup>3</sup>)



## (2) ③ 中期経営計画 設備投資計画



(億円)

	2016 年度 (実績)	2017 年度	2018 年度	2019 年度	3年間合計 (2017～2019年度)
製造設備	8	5	5	1	13
供給設備	52	57	72	73	203
業務設備等	12	18	9	1	29
合計	73	81	87	76	245

(端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります)

減価償却費(2017～2019年度累計) : 約195億円

## 3. 2017年度業績見通し

# 3. 2017年度 業績見通し



(単位: 百万円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (見通し)	差異
売上高	70,002	72,000	1,997
営業利益	3,812	2,800	▲1,012
経常利益	4,310	3,100	▲1,210
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,560	2,100	▲3,460
ROE(%)	13.0	4.6	▲8.4
原油価格 JCC(\$/bbl)	48	55	7
為替レート(円/\$)	108	115	7



# (参考) 経常利益分析

## 経常利益 ▲1,210百万円 の減益

(4,310百万円 ⇒ 3,100百万円)

「+」「△」は利益に対する影響額を示す

1. ガス事業 数量差	+300百万円
2. スライド差	▲600百万円
・スライドタイムラグ (2016)700百万円 (2017)100百万円	
3. LPG事業の減益	▲250百万円
・仕入価格の上昇	
4. その他事業の減益	▲150百万円
・建設工事の減少	
5. 減価償却の増加	▲450百万円
・幹線導管 他	▲500百万円
・廿日市工場棧橋関連	+50百万円

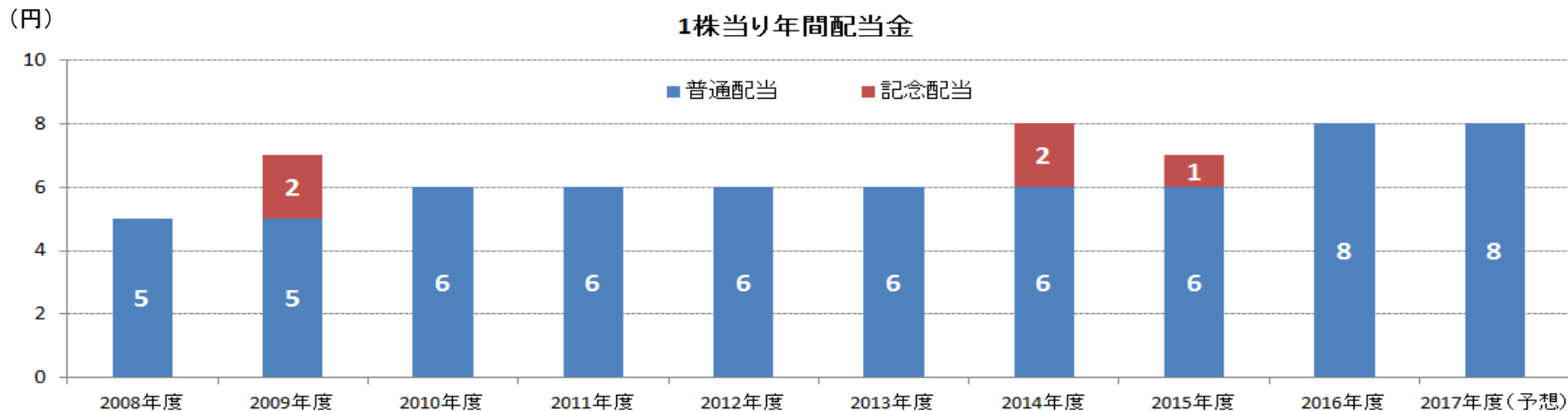
## 4. 株主還元方針



# 4. 株主還元方針



①徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、**安定配当を継続することを基本方針としつつ**、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、**成長に合わせた配当を実施**、②**連結配当性向30%以上**を目指す



※2009年度は、創立100周年、2014年度は、東証一部指定、2015年度は、天然ガス供給開始20周年に対し、記念配当を実施

## 株主優待制度

①目的: 株主様からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を**長期に保有**していただける魅力あるものとする。

②内容:

保有株式数	株主優待品
500株以上2,000株未満	クオカード(1,000円相当)
2,000株以上	優待品カタログ(5,000円相当の広島県特産品等)

## 5. 成長戦略

# 5. 成長戦略

持続的な発展に向けた取り組み  
～ガス・電力市場の自由化は成長の好機～



ガス販売量拡大と  
新たな収益源創出

## ① 本業への注力 = 都市ガス事業の強化

- ・会員制Webサービス・ポイントサービスの導入
- ・新たな料金メニューの導入・料金値下げの検討 等

お客さま件数の拡大  
(水平的拡大)

一件当たり販売量の拡大  
(垂直的拡大)

ガス販売量拡大を支える  
製造・供給インフラ整備



## ② 電力事業

(環境変化に適応し、総合エネルギー事業を目指す)

- ・廿日市工場コージェネレーション (発電容量：11千kW 2004年9月～)
- ・大規模太陽光発電事業 (発電容量：0.7千kW 2013年10月～)
- ・バイオマス混焼発電所 (事業可能性検討中)



# (1) ① 販売量の拡大(水平的拡大)



## 東広島市・福山市への供給エリア拡大(7市4町体制)

### 供給区域と体制

供給区域(広島県7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、他4町

お客さま件数  
409千件



## 未開発地域／市場の開発、供給エリアの面的拡大⇒ ガス販売量の拡大

**東広島市**: 広島県の中央(広島市の東)に位置する広島市のベッドタウン。広島大学の所在地

# (1) ② 販売量の拡大(垂直的拡大)



## 工業用・業務用

東日本大震災後の分散型電源、省エネ機器に対するニーズの高まり

⇒ **ガスコージェネレーション**(エンジン/タービン、燃料電池)、

**ガス空調**の販売拡大の好機

**他燃料からの切り替え促進 ⇒ 日新製鋼(株)呉製鉄所**



## 家庭用

エコジョーズ(省エネ型給湯器)、

床暖房等重点戦略機器の拡販

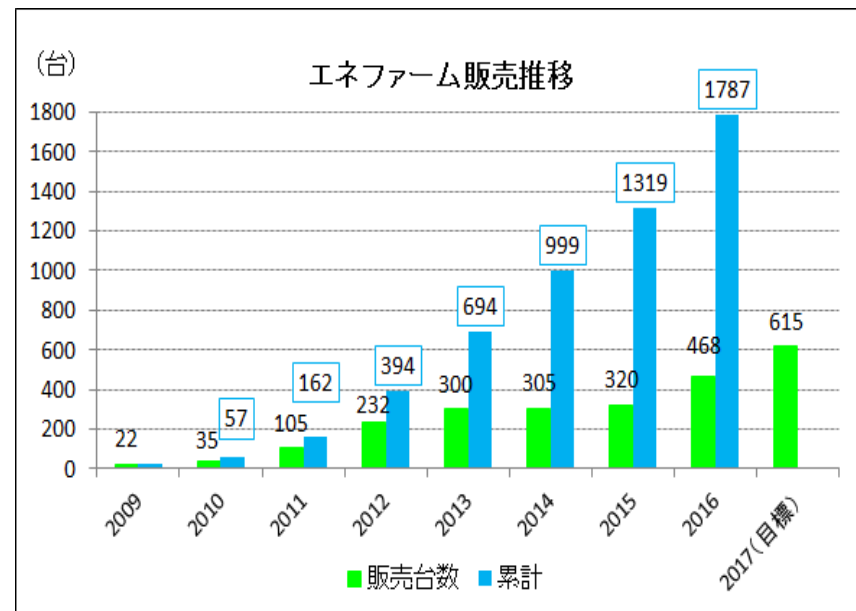
エネファーム(家庭用燃料電池)の販売拡大

⇒ 2017年度**販売目標: 615台**

マンション向けエネファーム  
2016年度受注(3棟123台)

- 一部採用(32/157戸)
- 一部採用(1/21戸)
- 全戸採用(90/90戸)

※全戸採用は県内初

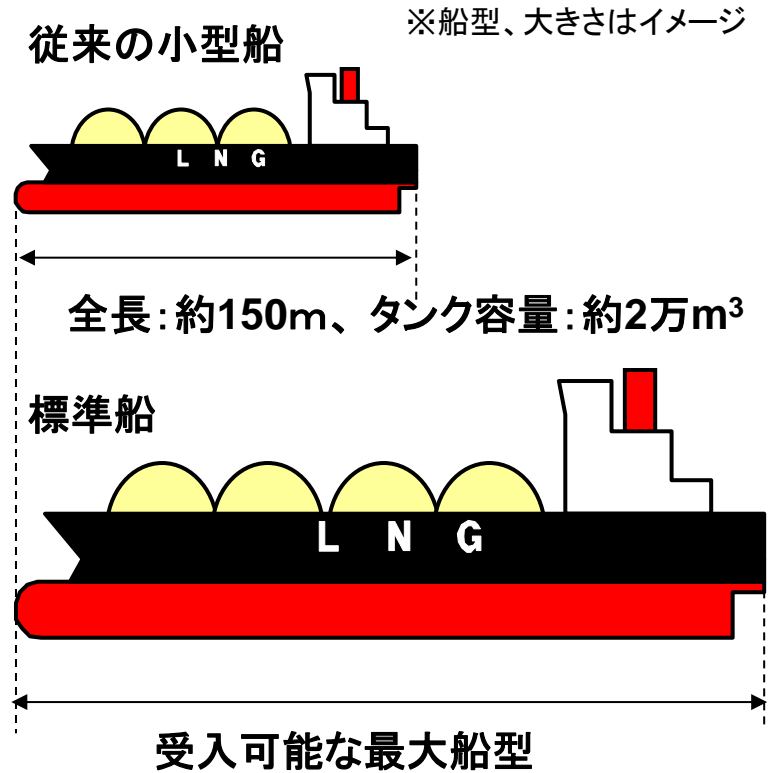


## (2) ① インフラ整備：製造設備／廿日市工場棧橋機能拡大



写真提供：国土交通省中国地方整備局

廿日市工場 標準船入港



- ・ 全長：約300m
- ・ タンク容量：約 17万7千m<sup>3</sup>  
(従来諸元の約 2x2x2=8倍)

### 【ねらい】

小型LNG 船と併用して標準LNG船の受入体制を整えることで、将来の需要増大に対応

- ① LNG の安定的な受入体制の強化
- ② 廿日市工場の有効利用・稼働率向上
- ③ 輸送コスト低減⇒競争力あるガス価格実現

## (2) ② ソフト面のインフラ整備：LNG売買契約



### 原料契約の状況

	サハリンⅡ	マレーシア	大阪ガス
締結時期	2005年5月	2015年9月	2014年7月
契約期間	2008年4月 ～2028年3月	2016年4月 ～2026年3月	2016年1月 ～2031年3月
契約数量	21万トン/年 (最大)	約10万トン/年	約5～13万トン/年 (年度によって変動)

※上記以外に、インドネシア、オマーンと売買基本契約を締結している。



**年間約40万トンの契約**  
標準船と小型船を併用し、効率的な輸送を実現

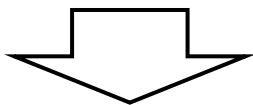
## (2) ③ シンガポール駐在員事務所開設



### ＜新たな拠点の整備＞

- シンガポールおよび周辺諸国でのエネルギー関連市場の情報収集等を目的として、シンガポール駐在員事務所を2017年2月に開設

- ・シンガポールは今後成長が見込まれる東南アジアのマーケットの中心に位置
- ・近年、LNG売主、LNG買主、商社等を含め、LNG関連企業がシンガポールにオフィスを開設し、各種情報交換を実施



- LNGの調達や輸送をはじめとするエネルギー関連情報の集積地で常駐者による情報収集を行う
- 将来のLNGの安定調達等につなげる





## (2) ④ インフラ整備：供給設備／導管網の増強



# (3) ① 広島県初のスマートコミュニティの構築



## ■配置図



エネルギー管理システムを導入、見える化を実現 (同時に国・市の政策PR)

**ガス供給**  
中圧ガス管の引き込みにより、災害に強い街

**熱供給**  
コージェネレーション★  
超高効率型GHP

**BCP電源**  
発電した電気を一括受電システムと連携  
災害時の電力バックアップ

**電力供給**  
エリア一括受電

# (3) ② Web会員・ポイント・生活関連サービス



このまち思いエネルギー。

## 広島ガス

「このまち思いエネルギー。」

まちには人がいる  
このまちの「ひと」思いサービス

- ・Web会員サイト
- ・ポイントサービス



まちにはくらしがある  
このまちの「くらし」思いサービス

- ・生活関連サービス



広ガスくらしサービス

	名称	サービス内容	導入時期
Web会員サイト	MY HIROSHIMA GAS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス使用量、料金の見える化</li> <li>・メールによる情報発信</li> </ul>	平成29年1月10日
ポイントサービス	広ガスポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス利用等に応じたポイント付与</li> <li>・ポイントと地元商品等との交換</li> </ul>	平成29年4月1日
	広ガスクーポン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイント交換メニューの一つ</li> <li>・広ガスクーポン取扱い加盟店で使用可能</li> </ul>	平成29年6月中を予定
生活関連サービス	広ガスくらしサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水まわり駆けつけサービス(新規導入)</li> <li>・リフォームパックサービス(新規導入)</li> <li>・ガス機器修理サービス</li> <li>・安心・安全サービス</li> </ul>	平成29年4月1日

# (3) ③ 地震・防災対策

## 設備対策

ガスをお届けする設備は高い耐震性を備えています。

- 高度な耐震設計で建設・施工されたLNGタンク
- 安全性の高い球形ガスホルダー
- 耐震性の高いガスの導管



## 緊急対策

速やかにガスの供給を停止し、二次災害を未然に防ぎます。

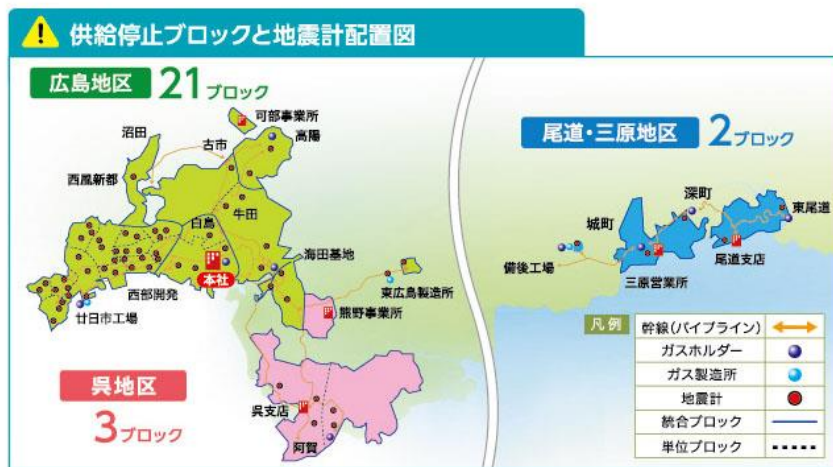
- ガスの供給を停止するシステム
- 供給停止区域のブロック化
- 「災害対策本部」の設置



## 復旧対策

安全かつ速やかにガスの供給を再開します。

- 復旧区域の分割
- 臨時供給
- 防災訓練



# (3) ④ 防災拠点ビルの建設



## 目的

- ・地震時、災害時等の防災拠点の確保
- ・復旧活動へ速やかに移行できる体制の強化

## 概要

- ・階数：地上6階(地上5階、屋上塔屋)
- ・延床面積：約3,900㎡
- ・構造：1階RC造、2～5階SRC造  
柱頭免震構造
- ・工事期間：平成28年11月 着工  
平成29年12月 竣工(予定)

## 完成予想図



## 機能

- ・**震度7クラスの地震**でも耐える(免震構造)
- ・津波等による**浸水被害**に遭っても機能を維持できる
- ・被災時に一定期間、インフラ等外部からの補給なしに対応要員が任務遂行できる

# (3) ⑤ 電力事業の検討

## 海田バイオマス混焼発電所の事業可能性の検討について

### 【発電所概要】

発電出力	11.2 万kW（発電端）
使用燃料	バイオマス、石炭、 天然ガス（助燃・バックアップ用）
建設用地	約3.7万㎡（敷地総面積 約15万㎡中）



### 【目的】

- 地域のガス事業者と電気事業者による共同事業  
⇒ エネルギーの安定供給に寄与
- 港湾施設・工業用水等の当社既存インフラや電力事業者の発電ノウハウを活用
- バイオマス混焼 ⇒ 再生可能エネルギーの普及拡大に寄与

### 【これまでの対応状況】

- 環境アセスメント終了（2017年1月）
- 2016年度のFIT価格の設備認定通知を受領（2017年2月）

### 【今後の主な課題と対応】

- カーボンニュートラルな燃料であるバイオマスの調達検討（種類・価格・契約期間・調達量 など）
- 採算性向上へ向けた土木・建築・プラント建設費の低減および売電スキームの検討
- 以上を踏まえた事業採算性検証

# ご清聴 ありがとうございました

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



このまち **思い** エネルギー。

# 広島ガス

# (ご参考) 会社概要



- お客さま件数 40万9千件(2017年3月31日現在)
- 都市ガス供給区域 広島県内の7市4町
- 広島県東部地区にて福山ガスに卸供給
- 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定(2015年3月9日)
- 証券コード 9535
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 67,998,590株



## 供給区域と体制

### 供給区域(広島県7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、他4町

お客さま件数  
409千件





# (ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
売上高	77,906	82,965	70,524	73,311	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303	70,002
営業利益	1,286	2,287	3,067	3,782	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475	3,812
経常利益	1,685	2,860	3,106	3,959	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775	4,310
当期純利益(※1)	605	-1,907	2,083	2,606	91	1,835	1,969	2,746	3,647	5,560
減価償却費	7,780	7,553	7,724	7,463	7,221	6,449	7,284	6,925	7,091	6,858
営業キャッシュフロー(※2)	8,385	9,379	9,807	10,069	7,312	8,284	9,253	9,671	10,738	10,313
設備投資額	5,675	6,098	4,106	3,864	5,457	7,227	12,257	9,667	9,851	8,267
フリーキャッシュフロー(※3)	2,710	3,281	5,701	6,205	1,855	1,057	-3,004	4	887	2,046
総資産	111,443	99,623	93,754	88,841	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357	102,363
自己資本(資本)	33,563	26,530	28,560	30,471	30,142	32,190	33,586	37,340	39,961	45,825
有利子負債	54,381	50,768	44,366	38,726	40,707	36,193	42,360	39,215	37,350	36,310
ROA(%) (※4)	0.5	-1.8	2.2	2.9	0.1	2.0	2.1	2.8	3.6	5.4
ROE(%) (※4)	1.7	-6.3	7.6	8.8	0.3	5.9	6.0	7.9	9.4	13.0
自己資本比率(%)	30.1	26.6	30.5	34.3	33.1	35.8	34.7	37.4	39.0	44.8
EPS(円)	10.2	-32.4	35.3	43.9	1.5	31.2	33.3	46.3	55.7	82.0
BPS(円)	571.0	449.8	482.1	512.9	512.4	545.2	567.1	571.0	590.1	675.2
D/E レシオ	1.6	1.9	1.6	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	0.9	0.8

※1 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2008、FY2016はキャッシュを伴わない特別損益を加減 <FY2008>循環取引損失2,364百万円、循環取引損失引当金繰入1,369百万円 <FY2016>債務免除益2,105百万円

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

# (ご参考)販売量データ



		FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
家庭用	販売量(百万m3)	112	109	106	106	108	107	105	103	103	100	99
	対前年比(%)	0	-2.7	-2.8	0	1.9	-0.9	-1.9	-1.9	0	-2.9	-1.0
商業用	販売量(百万m3)	61	62	57	51	51	49	48	47	45	43	44
	対前年比(%)	-1.6	1.6	-8.1	-10.5	0	-3.9	-2.0	-2.1	-4.3	-4.4	2.3
工業用	販売量(百万m3)	248	271	243	269	275	273	262	258	242	242	255
	対前年比(%)	15.3	9.3	-10.3	10.7	2.2	-0.7	-4.0	-1.5	-6.2	0.0	5.4
その他用	販売量(百万m3)	37	38	35	34	39	37	37	38	37	36	38
	対前年比(%)	0	2.7	-7.9	-2.9	14.7	-5.1	0	2.7	-2.6	-2.7	5.6
卸供給	販売量(百万m3)	3	31	46	51	54	55	60	61	62	60	56
	対前年比(%)	-	-	48.4	10.9	5.9	1.9	9.1	1.7	1.6	-3.2	-6.7
合計	販売量(百万m3)	463	513	488	512	529	524	513	509	491	483	494
	対前年比(%)	8.4	10.8	-4.9	4.9	3.3	-0.9	-2.1	-0.8	-3.5	-1.6	2.3